

作目名	く り
-----	-----

<露地栽培>

○技術体系設定の前提条件

(1)対象地域

東濃、岐阜、中濃、西濃

(2)立地条件

①気象条件

年平均気温 11～15℃、生育期間（4～10月）の平均気温 18～21℃、最低気温-15℃以内の地域で、生育期間中の降水量は 1,000～1,400mm程度が良い。

くりは耐寒性が弱いことから、晩霜常習地帯は避ける。

②ほ場条件

くりは深根性で、比較的乾燥にも強いが、土層が浅いと収量性が劣る。有効土層深は 60cm以上が望ましく、できれば 1m程度を確保したい。また、腐植に富み、排水良好で通気性が良く、保水力のある土壌が適している。土壌 pH は比較的酸性でも生育に影響は出にくい、好適 pH は 5～6 前後である。

園地は帯状草生とし、土壌流亡防止と有機質補給に努める。

また、帯水には弱いので、ほ場の排水対策の徹底を図る。

(3)目標収量と植栽間隔（10a 当たり）

樹 齢 (年)	3	4	5	6～7	8	9
収 量 (kg)	40	80	200	350	450	500
栽植本数 (本)	40	40	40	40	40	40
(栽植距離) (m)	(5×5)	(5×5)	(5×5)	(5×5)	(5×5)	(5×5)

○生育過程

月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			備 考 (品種)
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
露地栽培				△		✂										☆	△							△	□	□	□				✂			筑波			

✂ : 整枝せん定

☆ : 開花

△ : 基肥

△ : 追肥

□ : 収穫

○土づくり・施肥

①土づくりの方法

たい肥等の種類	投入量	備考
完熟堆肥	2,000kg/10a	12月

②施肥基準（樹齢10年以上、10a当たり、kg）

施肥成分	総量	基肥 (12～2月)	追肥 (6月中旬)	追肥 (9月下旬～ 10月上旬)	備考
窒素	21.7	15.3	3.2	3.2	・基肥は、年間の窒素 70%、りん酸100%、加里 60%程度とする。 ・追肥は、速効性の化学 肥料を用いる。
りん酸	16.6	16.6	0	0	
加里	18.0	11.6	3.2	3.2	

施肥設計にあたっては、堆肥中の有効肥料成分を測定し、それを施肥基準量から差し引き肥料の施用量を決定する。